

科目名	インターンシップ7							年度	2025
英語科目名	Internship 7							学期	通年
学科・学年	情報ビジネス科 2 年次	必／選	選	時間数	150	単位数	5	種別※	実習
担当教員	加藤 秀樹	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】									
インターンシップとは、学生が在学期間中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことを指す。本カレッジのインターンシップは、産業界の協力を得て実践的な体験と動機づけにより将来の企業人を育成することを目的とする。インターンシップでは、企業活動の一端に触れることにより、次の事項に関してなんらかの学習効果を期待する。1 つ目に 企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。2 つ目に企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。3 つ目に学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることである。									
【科目の概要】									
インターンシップとは「就労体験」のことである。本カレッジの場合は、長期休業の期間で実施している。インターンシップの期間は1日、1週間～2週間が多い。学校の授業で学習した内容を活かす場でもあり、実践的なカリキュラムが各企業で実施される。実習は、受入先企業、あるいはそのユーザ先企業の社内となっている。最終的な評価については各企業の担当者の方に依頼する。									
【到達目標】									
学生が在学期間中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行い、実践的な体験と動機づけにより将来の企業人を育成することを到達目標とする。具体的には、企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることを目標とする。今後の学生生活で学んだことが活かせるようにインターンシップ前に各自が目標を立ててから参加してほしい。									
【授業の注意点】									
インターンシップ開始前に担当教員と顔合わせに行く。また、インターンシップ活動賠償責任保険（総合賠償責任保険）に事前に参加すること。勤務時は受入先から特に指定がない場合は原則、スーツを着用する。期間中に電車遅延や体調不良で遅刻・欠勤する場合は必ず電話連絡すること。無断欠勤や勤務時の態度が悪い場合は、インターンシップを中断する可能性があるため、やむ得ない事情がある場合は、受入先企業、担任に速やかに連絡する。その他、社会人として必須のマナーを守ってインターンシップに参加すること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解し実践できる		企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解しているが、実践できない			企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解していない			
到達目標 B	企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解している		企業の組織構造を理解していない、または組織における人間関係やルールを理解していない			企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解していない			
到達目標 C	学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解し、今後の学習への動機づけをすることができる		学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解しているが、今後の学習への動機づけをすることができない			学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解しておらず、また今後の学習への動機づけをすることができない			
【教科書】 資料を配布する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成果発表（口頭・実技） 50% 実習期間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 50% 積極的な参加度、勤務態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

